

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ChemSol S/1 Supplement
製品番号	423518
SDS No.	1369
製造元	
会社名	bioMérieux SA
住所	Chemin de l'Orme - 69280 Marcy-l'Etoile - France
電話番号	+(33) 4 78 87 77 51
会社名 (販売元)	バイオメリュー・ジャパン株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-7 赤坂溜池タワー2F
担当部門	薬事部
電話番号	03-6834-2666
緊急時の電話番号	03-6834-2718
FAX 番号	03-6834-2667
Website	http://www.biomerieux.co.jp/
推奨用途及び使用上の制限	試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	重篤な眼損傷／眼刺激	区分 2
環境に対する有害性	区分なし	
主な症状	眼刺激。水路に放出（排出）すると環境に危険。	
GHSラベル要素		

シンボル



注意喚起語	警告
危険有害性情報	H319：強い眼刺激

注意書き

安全対策

P273：環境への放出（排出）を避けること。
 P280：保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 P305+P351+P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P337+P313：眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

応急処置

4. 応急処置 を参照。

保存方法

7. 取扱い及び保管上の注意 を参照。

処理方法

13. 廃棄上の注意 を参照。

特別情報

なし

その他の危険性

データなし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲(%)	化学式	CAS 番号
ラウリル硫酸ナトリウム	1 - < 3	C ₁₂ H ₂₅ NaO ₄ S	151-21-3
その他の成分	90 - 100	特定できない	-

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

化学物質排出把握管理促進法（化管法）

第一種

ラウリル硫酸ナトリウム（政令番号：1-275）

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気がある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸困難症状の場合、酸素吸入が必要になる可能性がある。症状が悪化または続く場合なら、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

せっけんと水で皮膚を洗うこと。接触を最小限にするため、付着していない部分まで拡大しないようにすること。刺激が強くなる、または刺激が続くようなら、医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分間以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続くようなら、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合、直ちに中毒センター／医師に連絡すること。口をすすぐこと。口移しでの人工呼吸等の行為を行わないこと。無理に吐かせないこと。嘔吐が起きた場合は、胃の内容物が肺に入らないように頭を低く保つこと。症状が現れた場合、医師の診断を受けてください。

最も重要な症状及び影響（急性/遅延性）

症状には、刺すような痛み、裂傷、発赤、腫れ、霧視などがある。呼吸器への刺激が起こるおそれ。

直ちに医師の診察と必要な特別な治療の適応。

症状が遅れて現れるおそれ。

一般情報

症状が現れた場合、医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧。泡状消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素（CO₂）。

使ってはならない消火剤

消火器などの勢いのある水噴霧は、被害を増大するおそれがある。

特有の危険有害性

火災が起きた場合、有害なガスが発生するおそれ。

消火を行う際の特別な保護及び注意事項

可能な限り、火災場所から製品を移動させること。

特有の消火方法

標準の消火方法を用いること。

一般的火災の危険性

その他含有される原料の危険性も考慮すること。

通常、火災や爆発の危険性はない。

6. 漏出時の措置

<p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</p> <p style="padding-left: 40px;">緊急時の対応</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p style="padding-left: 40px;">封じ込め及び浄化の方法・機材</p>	<p>不要な作業員を遠ざけること。関係者以外は近づけないこと。 清掃する場合、適切な保護具と衣服を着用すること。 大量の流出が止まらない場合、地方自治体の指示を仰ぐこと。 不要な作業員を遠ざけること。関係者以外は近づけないこと。 環境中への放出を避けること。 危険性がない場合、製品の流出を止めること。水と混ぜないこと。 排水溝、水路又は地表面への放出（排出）を避けること。 すべての環境放出について適切な管理または監督担当者に通知すること。</p> <p>多量の流出の場合： 危険性がない場合、製品の流出を止めること。 可能であれば、こぼれた物質の流出範囲を広げないように対処すること。 製品はパーミキュライト、砂又は土などの不燃性物質に吸収させ廃棄可能な容器に回収すること。排水溝への放出を避けること。</p> <p>少量の流出： 流出物を拭き取ること（衣類、フリースなど）。表面を徹底的に清掃し、残留汚染を除去すること。 流出物は再利用目的で元の容器に戻さないこと。</p>
--	--

7. 取扱い及び保管上の注意

<p>取扱い</p> <p style="padding-left: 40px;">安全取扱い注意事項</p> <p>保管</p> <p style="padding-left: 40px;">安全な保管条件</p>	<p>眼との接触を避けること。十分な換気経路を確保すること。適切な個人用保護具を着用すること。環境中への放出を避けること。使用説明書をよく読み、正しい場所、正しい使用方法の元で取り扱うこと。</p> <p>密閉容器内で保管すること。</p>
--	--

8. ばく露防止及び保護措置

この混合物は、PFL や TLV、その他推奨されるばく露限界が決められている成分がない。

<p>生物学的ばく露指標</p> <p>設備対策</p> <p>保護具</p> <p style="padding-left: 40px;">眼/顔の保護具</p> <p style="padding-left: 40px;">手の保護具</p> <p style="padding-left: 40px;">皮膚及び身体の保護具</p> <p style="padding-left: 40px;">呼吸器の保護具</p> <p style="padding-left: 40px;">熱危険性</p> <p style="padding-left: 40px;">衛生対策</p>	<p>この成分に対する注意すべき生物学的ばく露指標はない。</p> <p>標準監視手順に従うこと。 洗眼場所を設置すること。</p> <p>眼への接触を避けること。サイドシールドのある安全眼鏡（あるいはゴーグル）を着用すること。洗眼器を設置することを推奨。</p> <p>ニトリル製の保護手袋を使用すること。</p> <p>皮膚への接触を避けること。眼／顔の保護具を着用すること。 適切な保護衣と保護手袋を着用すること。</p> <p>個人用呼吸器保護具装着の必要はない。</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p>
--	--

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状态	液体
	形状	データなし
	色	無色透明または無色に近い
臭い		データなし
臭いのしきい (閾) 値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発率		データなし
燃焼性 (固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	可燃限界	データなし
	下限	データなし
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度 (空気=1)		データなし
相対密度		データなし
溶解度 (水)		データなし
(その他)		データなし
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
熱分解温度		データなし
粘度		データなし
その他の情報	密度	1.20 g/cm ³ (推定)

10. 安定性及び反応性

反応性	この製品は通常の使用、保管、輸送条件下では安定で、かつ非反応性である。
化学的安定性	通常の取り扱い条件下では安定である。
危険有害反応の可能性	通常の取扱い条件下では、危険な反応は起こらない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触はさけること。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は見つかっていない。

11. 有害性情報

ばく露経路情報	
吸入	吸入によって悪影響が及ぼされることは考えられていない。
皮膚への接触	皮膚接触によって悪影響が及ぼされることは考えられていない。
眼への接触	重篤な眼刺激を起こす。
経口摂取	飲み込んだ場合、不快を感じる可能性がある。 ただし、経口摂取は主なばく露経路になる可能性は低い。
様々な症状	様々な眼刺激があり、症状の中には、刺すよう痛み、裂傷、発赤、腫れ、霧視なども含まれる場合がある。失明などの永久的な眼損傷を引き起こす場合もある。

急性毒性

化合物	種別	試験結果
ラウリル硫酸ナトリウム (CAS : 151-21-3)		
急性 (経口) LD50	ラット	1288 mg/kg

*製品としての概算 (推測) は、追加成分データに基づく場合がある (図示化してない)。

皮膚腐食性/刺激性	データ不足のため、分類できない。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	重篤な眼刺激を起こす。
呼吸器感作性	データ不足のため、分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため、分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため、分類できない。
発がん性	データ不足のため、分類できない。
生殖毒性	データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データ不足のため、分類できない。
誤嚥の危険性	データ不足のため、分類できない。
混合物と製品の情報	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 長期にわたる影響により、水生生物に有害。

化合物	種別	試験結果
ラウリル硫酸ナトリウム (CAS : 151-21-3)		
水生		
甲殻類 EC50	オオミジンコ	9.2 - 10.4 mg/L, 48 hours
魚類 LC50	コイ、ゴンベ	1.36 mg/L, 96 hours

*製品としての概算 (推測) は、追加成分データに基づく場合がある (図示化してない)。

残留性及び分解性 データ不足のため、分類できない。

生物蓄積性

n-オクタノール/水分配係数 (log Kow)
ラウリル硫酸ナトリウム

1.6

土壤中の移動度

データなし

他の有害影響

この成分からの環境に対するその他の有害影響はなしと推測。

(例：オゾン層破壊の可能性、光化学的オゾン発生の可能性、内分泌かく乱の可能性または地球温暖化の可能性)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、地方自治体の規制基準に従うこと。空容器を廃棄する場合は、残留物がまだ残っている可能性があるため、安全な方法で処理すること。(処理方法は、残余廃棄物の項を見ること。) 排水溝、水路又は地表面への放出 (排出) を避けること。

汚染容器及び包装

空容器に製品の残留物が残っている場合、容器が空になっても警告等の表示に従うこと。空容器は認可を受けた廃棄物処理場に受け渡し、リサイクルするか、適切な処分を行うこと。

廃棄物方法と情報	密閉できる容器に収集し、許可を受けた廃棄物処理業者に引き渡すこと。排水溝、水路又は地表面に放出（排出）しないこと。また、下水道/水道に流さないこと。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の規制基準に従うこと。
特別な注意事項	全ての適用されている規制に従って処理すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 航空規制情報	特になし 特になし
国内規制	陸上規制情報 海上規制情報 航空規制情報	特になし 特になし 特になし

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 （化管法）	第一種	ラウリル硫酸ナトリウム（政令番号：1-275）
化学物質審査規制法 （化審法）	優先評価化学物質 既存化学物質	ラウリル硫酸ナトリウム（化審法官報整理番号：2-1679） ラウリル硫酸ナトリウム（化審法官報整理番号：2-1679）

16. その他の情報

参考文献	NITE GHS 分類公表データ EU CLP Regulation, Annex III bioMerieux Inc 製品 SDS（2019-09-03） 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。
------	--